

NetCrunch 15

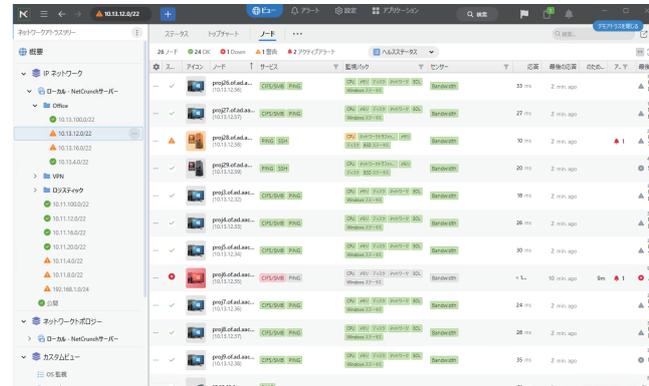
ネットワーク監視サーバー

■ ネットワーク検出

NetCrunch は指定した範囲の TCP/IP ノードを検出し、監視ノード一覧を作成します。そして、定期的なネットワークのスキャンによりノードを検出し、監視ノード一覧への追加や管理者への通知を行うことが可能です。また、検出されたノードは自動的に分類され、定義済みフィルタービューや自動監視パックが適用されます。

ネットワークサービス

NetCrunch はノード上で稼動するネットワークサービスを、標準定義された 70 種類以上のサービスの中から検出することが可能です。更に、要求と応答の定義を追加することで、監視対象にあわせた任意のネットワークサービスを監視することが可能です。



監視依存関係

NetCrunch はネットワークとその中継点にあるルーターのように、監視依存関係を設定することが可能です。監視依存関係を設定することで、例えばルーターのダウンによってその先にあるノードからのアラートの発生を抑制することが可能です。

ICMP & SNMP

ノードの検出には ICMP と SNMP プロトコルを uses。より正確なネットワークを表示するために、ActiveDirectory、Workgroup などのネットワーク情報をスキャンすることが可能です。

デバイスの識別

ネットワークから検出されたノードはサーバー、ルーター、スイッチといったデバイスクラスや Windows、Linux といった OS などに分類します。分類されたノードは、自動的に動的ノードビューや自動監視パックが適用されます。

■ ネットワークビュー

管理される全てのネットワークビューやノードは、ネットワークアトラスに含まれます。ビューはマップやリアルタイムなパフォーマンスチャートとして描かれます。プログラムは標準で、IP ネットワーク、監視依存関係、物理的セグメント、カスタムビュー、から構成されています。

ダイナミックノードグループ

ダイナミックノードグループは設定したフィルター条件にもとづき、条件に合致したノードを表示します。

IP ネットワーク

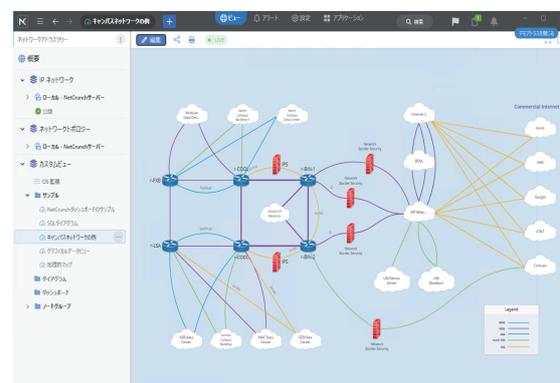
NetCrunch が自動的に作成する論理 IP ネットワークのマップです。

ネットワークポロジ

ノード間の物理的な結線情報を検出し、物理的セグメントマップを自動で作成することが可能です。

グラフィカルデータビュー

ユーザーが自由に作成、編集できるマップです。

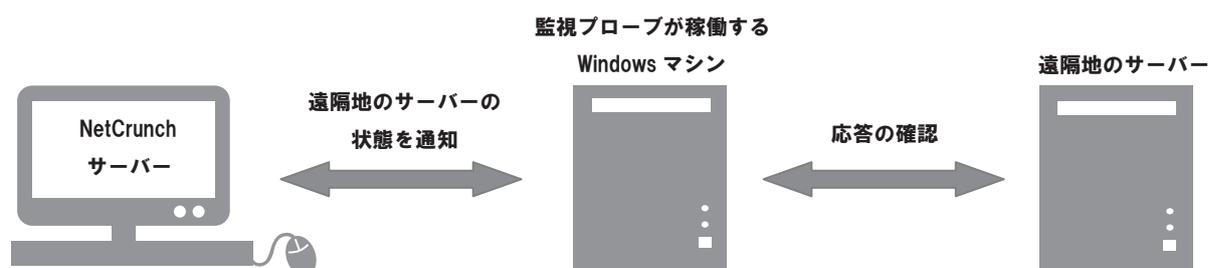


■ ノードデータベースの強化

整理、検索できるタグ機能を追加しました。また、任意のファイル（画像、ドキュメントなど）をノードに添付が可能となり、ノードへの情報アクセスの利便性が向上しました。

■ 監視プローブ

監視プローブは、NetCrunch と直接通信できないデバイスを監視するためや負荷分散用の監視エージェントです。Windows マシンにインストールすることで、監視プローブからデバイスの応答を確認し、NetCrunch で監視することが可能です。



■ パフォーマンス監視

パフォーマンスの監視を行う理由として、ボトルネックの調査、サービス品質の維持、拡張計画などが挙げられます。

ネットワークデバイス

NetCrunch は SNMP が動作するハードウェアデバイスをサポートしています。定期的に SNMP のパフォーマンスカウンタ（MIB）を確認しデータを収集します。

MIB コンパイラを搭載しており、ベンダー独自の MIB も監視することが可能です。

オペレーティングシステム

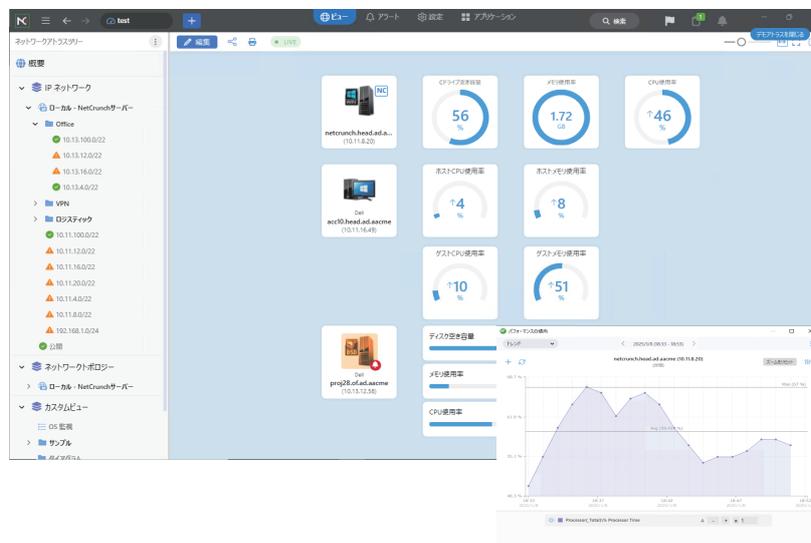
NetCrunch は Windows、Linux、MacOS、BSD、VMware、Solaris、Hyper-V のサーバーに対して、エージェントレス監視機能を用意しています。

Windows の場合は WMI を用いて、VMware の場合は API を用いて、その他の OS は SSH を用いて対象サーバーに接続しパフォーマンスデータを収集します。Unix など他の OS やエージェントレス監視を利用しない場合には、SNMP を用いて監視することも可能です。

トラフィック監視

SNMP を利用してトラフィックの監視が行えます。取得した MIB データをそのまま出力するだけでなく、定義した計算式に基づいて算出した結果をデータとして出力することが可能です。

また、NetFlow、sFlow などのフローデータの監視にも対応しています。複数のデバイスからフローデータを受信した場合には、マージしたデータを出力します。

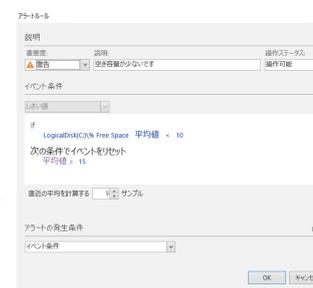


リアルタイム統計とトレンド履歴表示

NetCrunch はリアルタイムなパフォーマンスと可用性の統計データを収集します。収集したデータは、あらかじめ定義されたレポート形式で出力することができる他、ユーザーが収集したいパフォーマンスカウンタを指定してレポートとして出力することも可能です。NetCrunch に組み込まれているパフォーマンストレンドは、収集データの履歴の閲覧に使用することが可能です。

しきい値

収集したデータに対してしきい値を設定することで、しきい値違反が発生した際にアラートを生成することが可能です。しきい値の条件タイプには、基本（設定値より大きい / 小さい）、範囲（数値の範囲）、存在（値の取得の可否）などを用意しています。



■ ネットワークサービス監視

NetCrunch はノード上で稼働しているネットワークサービスの UP/DOWN や可用性などを監視することが可能です。

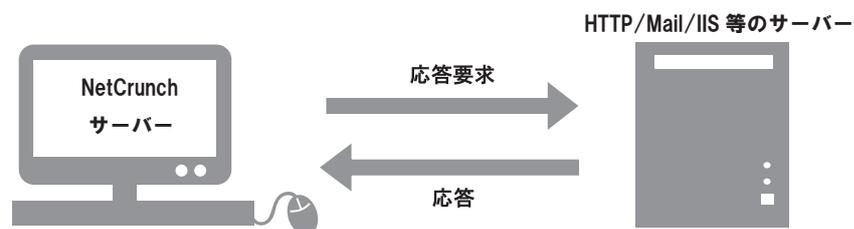
基本的な監視として、ICMP（PING）の他、70 種類以上の定義済み TCP/UDP ネットワークサービスの応答を確認することが可能です。パケットの送受信数や応答時間、パケットロスの割合などを用いて、性能監視も可能です。

■ 監視センサー

監視センサーを利用することで、NetCrunch からの監視を拡張することが可能です。例えば、Web ページの監視センサーでは、Web ページの存在や読み込みエラー、読み込み時間の他、任意の応答コードによってアラートを発生させることが可能です。また、ファイルの監視センサーではファイルの存在、サイズ、修正時間を、フォルダの監視センサーではフォルダ内のファイルの追加や削除などの監視が行えます。その他、SQL、WMI、Apache、DNS、E メール、などの監視センサーを用意しています。

また、NetCrunch 15 では、分散ファイルのレプリケーション（DFSR）に関するセンサーが追加されました。このセンサーを使用することで、名前空間とレプリケートされたフォルダのパフォーマンスと容量のデータ収集が可能です。

■ ネットワークサービス監視イメージ



■ イベント管理とアラート

NetCrunch は様々な情報源からのイベントを処理します。SNMP トラップや Windows イベントログ、Syslog など外部からの通知や、NetCrunch の監視イベント（ノード状態の変化、ノードの追加 / 削除）などがあります。

アラート=イベント+アクション

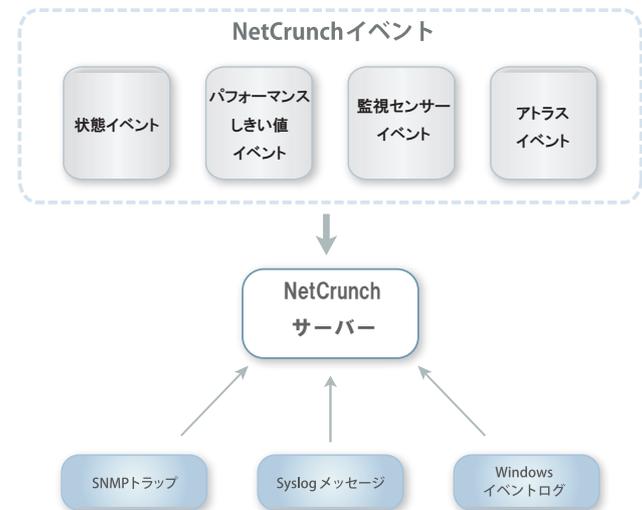
イベントが発生した場合、NetCrunch は内蔵のイベントデータベースに情報を記録し定義されたアクションを実行します。1つのイベントに対して複数のアクションを定義することも可能です。

アクション

アクションにはユーザーへの通知や診断情報の取得、プログラム / スクリプトの実行などがあります。アクションは NetCrunch が監視する全てのイベントに設定することが可能です。

アラートエスカレーション

アクションはイベント発生時に実行できるだけでなく、事象が継続している場合に新たにアクションを実行することも可能です。例えば、イベント発生時にはデスクトップ上に通知メッセージを表示、15分後にはメール通知を行う、といった設定が可能です。この場合、15分より前にアラートがクリアされるとメール通知は行われません。更に、最後に実行したアクションをイベントがクリアされるまで定期的に繰り返し実行することも可能です。



NetCrunch 15 アラートアクション

基本 / デスクトップ

- ≫ 音の再生
- ≫ コンソールの通知

基本 / 単純

- ≫ email

基本 / 通知

- ≫ ユーザーもしくはグループに通知

基本 / 診断

- ≫ Traceroute をアラートメッセージに追加する
- ≫ ネットワークサービス状態をアラートメッセージに追加

コントロール / NetCrunch

- ≫ ノード監視状態の設定
- ≫ ノードの監視時間の変更
- ≫ ノードのカスタムフィールドの編集

コントロール / コンピュータ

- ≫ Windows プログラムの実行
- ≫ Windows スクリプトの実行
- ≫ SSH スクリプトの実行
- ≫ コンピュータの再起動
- ≫ コンピュータのシャットダウン
- ≫ SNMP の変数の設定
- ≫ Windows プロセスの切断
- ≫ Windows サービスの開始・停止・一時停止
- ≫ Wake on LAN

コントロール / Windows

- ≫ SNMP サービスの開始
- ≫ SNMP サービスの停止

コントロール / Linux

- ≫ Linux マシンのシャットダウン
- ≫ Linux マシンの再起動
- ≫ Linux SNMP Daemon の再起動
- ≫ CD-ROM のマウント
- ≫ CD-ROM のアンマウント

ログ / ローカル

- ≫ 指定ファイルに出力
- ≫ Windows イベントログに書き込む
- ≫ 発生イベント毎に異なるファイルに出力

ログ / リモート

- ≫ SNMP トラップの送信
- ≫ Syslog メッセージの送信
- ≫ Webhook のトリガー

統合 / テキストメッセージ (SMS)

- ≫ Clickatell 経由でテキストメッセージ
- ≫ MessageBird 経由でテキストメッセージ
- ≫ SMSEagle 経由でテキストメッセージ

統合 / サービスデスク

- ≫ AlerOps アラート
- ≫ ConnectWise チケット
- ≫ Flowdock チケット
- ≫ LiveAgent チケット
- ≫ Service Desk Plus Ticket
- ≫ Zendesk チケット

統合 / 通知

- ≫ Amazon SNS メッセージ
- ≫ Camfire メッセージ
- ≫ HipChat メッセージ
- ≫ Microsoft Teams のメッセージ
- ≫ Slack メッセージ

など

■ アドオンモジュール

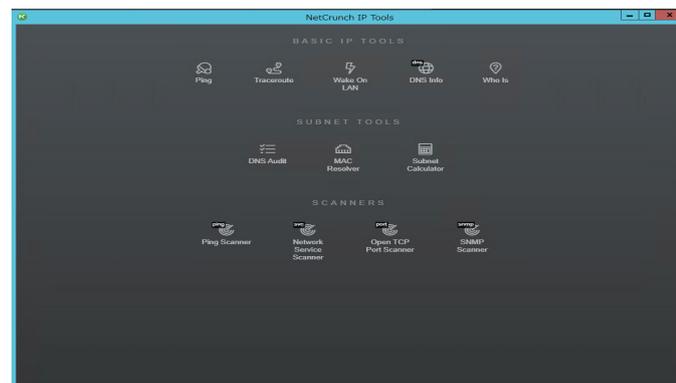
NetCrunch には独自開発の MIB コンパイラ、IP ツールといったアドオンモジュールが付属しています。

■ MIB コンパイラ

標準 MIB 以外のベンダー独自の MIB 値を監視する場合、MIB データをコンパイルすることで監視が可能です。

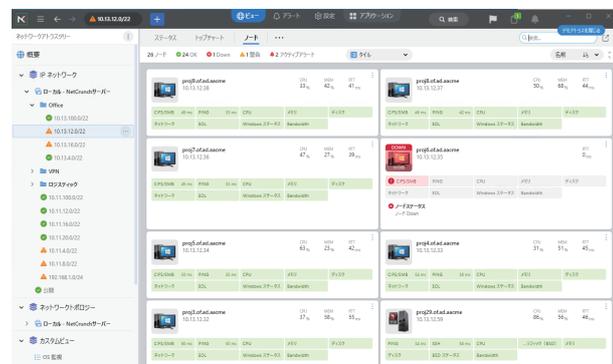
■ IP ツール

Ping/Traceroute といったネットワークコマンドを GUI から設定、実行することが可能です。



NetCrunch の統合的、かつプロアクティブな管理方法によって、 日常業務の自動化、資産運用の効率化、ネットワーク環境を改善することが可能です！

サーバー、スイッチ、ルーター、アプリケーションといったシステムをコントロールするために複数の管理ツールを使用していませんか？
NetCrunch は分かりやすいインターフェースを用いて、クロスプラットフォーム・ネットワークにおける全ての側面を可視化し、監視するツールです。アラートやレポートの生成により、手間かけることなく問題点を早期発見し、ダウンタイムや無駄なコストの発生を抑制します。



監視

70 以上のネットワークサービスの定義を利用して検出、監視を行えます。
未定義のサービスを追加定義することも可能です。また、エージェントレス監視機能や SNMP (v1, v2c, v3) で監視を行えます。

イベント管理

しきい値違反やネットワークサービスの異常、SNMP トラップなど、様々な情報源からイベントを処理します。
発生したイベントは保留状態にすることで、未解決の問題を容易に確認することが可能です。

ネットワークビュー

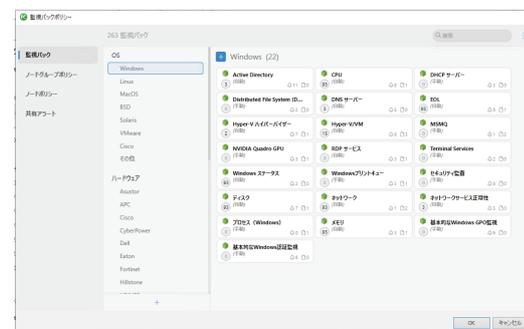
スキャン終了後、検出されたノードがサーバー、ルーター、スイッチなどのどのデバイスであるかを特定します。
そして、特定したデバイスタイプにあったアイコンを、ネットワークマップ上に配置します。

■ 監視パック

監視パックとは、監視に用いるイベントやレポート生成用にデータ収集が必要な項目の定義を集めたものです。
任意のノードに適用することで、同じ監視定義を複数のノードに利用することが可能です。また、1つのノードは複数の監視パックに所属することも可能です。監視パックを利用することで、NetCrunch の監視設定を簡単に管理することが可能です。

自動 / 手動監視パック

自動監視パックは、ダイナミックビューと同様、設定したフィルター条件に合致するノードを自動的に割り当てます。
手動監視パックは、ユーザーが手動でノードを登録していきます。



NetCrunch 15 監視パック

OS

- ≫ Active Directory
- ≫ DNS サーバー
- ≫ DHCP サーバー
- ≫ ネットワーク
- ≫ セキュリティ監査
- ≫ Terminal Services
- ≫ EOL
- ≫ Hyper-V Status
- ≫ プロセス (Windows)

- ≫ CPU
 - ≫ ディスク
 - ≫ メモリ
 - ≫ Linux
 - ≫ VMware
 - ≫ Cisco
- #### ハードウェア
- ≫ Alcatel OmniSwitch (SNMP)
 - ≫ Cisco ハードウェアの正常性
 - ≫ Dell iDRAC (SNMP)

- ≫ HP Systems Insight Manager (SNMP)
- ≫ APC PowerChute (SNMP)

アプリケーション

- ≫ Exchange
- ≫ SharePoint
- ≫ IIS
- ≫ MS SQL Server
- ≫ MS Project Server
- ≫ Avast Premium Security
- ≫ AVG

- ≫ Norton
- ≫ Symantec
- ≫ APC Windows イベント
- ≫ Oracle 11.2.0

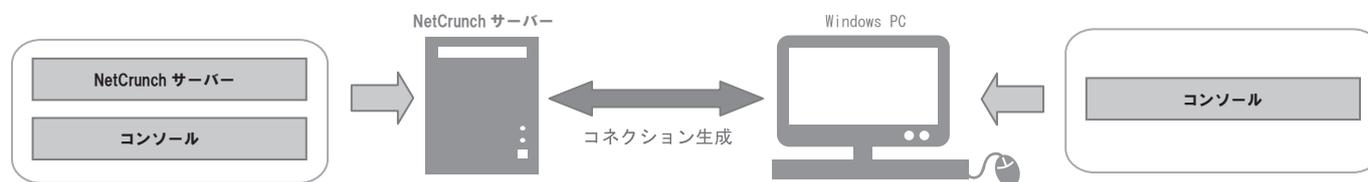
グローバル

- ≫ ノードステータス
 - ≫ サービスステータス
 - ≫ グローバルフロー
 - ≫ 複合イベント
- など

■ プログラム・アーキテクチャー

NetCrunch は監視を実行する各種サービス（Web サーバー / データベース / タスク管理など）で構成された NetCrunch サーバーと、GUI を構成するコンソールに分かれています。

コンソールは NetCrunch サーバーに付属しているだけでなく、アプリケーションとして Windows ワークステーションに導入できます。これにより、NetCrunch サーバーから物理的に離れた場所にあるマシンを利用して、NetCrunch の操作 / 設定が可能です。



■ リモートアクセス

リモートマシン上からコンソールを利用できるだけでなく、Web ブラウザでネットワークの状態を確認することも可能です。

Web アクセス

Web アクセスでは接続用のユーザープロフィールを作成することが可能です。表示するマップや利用できる機能を制限でき、使用するユーザーにあわせてカスタマイズすることが可能です。また、HTML 5 に対応しており、スマートフォンやタブレット PC から閲覧することも可能です。

コンソール

Windows ワークステーションにコンソールを導入することで、離れた場所から NetCrunch を操作することが可能です。また、コネクションブローカーで NetCrunch と常時接続することで、デスクトップ上にアラート通知を表示することも可能です。



ライセンスと必要条件

■ ライセンス

エンタープライズ

NetCrunch の全機能をご利用いただけるライセンスです。1 ライセンスにつき 1 台の管理ワークステーションで NetCrunch を稼働させることが可能です。

ノード数 / インターフェース数に応じたライセンス体系となっており、ノード数または監視対象のインターフェース数の最大数をカバーするライセンスが必要です。

※ライセンスご購入前に評価版にてノード数 / インターフェース数をご確認いただくことを推奨しております。

■ オプションライセンス

監視プローブ

リモートの Windows マシンにインストールすることで、リモートマシンからの監視が可能です。エンタープライズに 1 セッション分付属しており、追加でご利用の際に必要なライセンスです。

リモートアクセス

Web アクセス、リモートマシン上のコンソールとコネクションブローカー、GrafCrunch に使用します。エンタープライズに 10 ユーザー分付属しており、追加でご利用の際に必要なライセンスです。

■ システム要件（最小構成）

プロセッサ：4 コア

メモリ：4GB

動作対象 OS：
サーバー本体：

Windows Server 2016/2019/2022/2025

コンソール：Windows 10/11

Web ブラウザ：

Firefox 86 以降、Chrome 86 以降、
Microsoft Edge 86 以降、Opera、
Safari 15.4 以降

adrem
software

開発元

AdRem Software
(アドレムソフトウェア)

<https://www.adremsoft.com>

新機能について

<https://jp.adremsoft.com/netcrunch/whatsnewv15/>

国内総販売代理店
株式会社情報工房

情報工房
Johokobo, Inc.

本社

〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-21-15 メタリオン OS ビル 5F
TEL:03-5447-6812 FAX:03-5447-6823

西日本事業所

〒530-0037 大阪府大阪市北区松ヶ枝町 1-3 いちご南森町ビル 4F
TEL:06-4800-1601 FAX:06-4800-1603

E-mail: nc-sales@johokobo.co.jp

URL: <https://www.johokobo.co.jp>

お問い合わせ

・仕様および概観は、改良のため予告なく変更される場合があります。
・カタログに記載されているロゴ、商品名は各社の登録商標です。